

を後継者に承継するだけでなく、中長期的な事業計画を立て、それを踏まえて具体的な事業承継計画を策定することが大切である」という説明があった。

森川氏はそれを聴いて、「これまで心血を注いできた事業を次の世代に継承・発展させ、従業員が安心して働き続けられるようにするためにも、事業計画と事業承継計画の策定に取り組まねば」と思いを新たにした。

## ■ 実行支援

本プロジェクトのアシストコースを利用して、専門家から具体的なアドバイスを受けながら、上記の課題解決に向けて取り組んだ。

事業計画策定にあたって、まずは経営理念の可視化に取り組んだ。これまで森川氏から経営陣や従業員に対して、当社の信条やモットーは発信されていたが、この機会に一度整理し、全員で共有できるようにしようという趣旨である。これには多くの時間を要したが、創業の思いや社名に込めた願い等、森川氏と後継者の2人が認識を共有するための大変有効な場になった。内山章氏は「会社は今後何を目指して進むのか、皆がベクトルを合わせるための指針が必要だった。その土台ができたことは、大きな一步であった。」と語る。

事業計画書には、主要製品別の売上目標や、事業別の人員計画等も盛り込まれた。また、現状と目標のギャップから「取り組むべき具体的な課題」を抽出し、実行プログラムをスケジュール化した。今後はスケジュールに基づき、確実な実行を推進するためのPDCAを回していくつもりである。

新規事業の「e-HPLC ことり」の販売促進と販路開拓も計画に組み込まれ、専門家からアドバイスを受けながら、展示会「JASIS 2019」への出展、子ども科学教室の実施、新聞・他メディアへの掲載等のプロモーション活動が実施された。

事業承継計画についても、専門家の支援を受けながら具体的な内容を固めていき、完成させることができた。

## ■ その後の変化・成果

本プロジェクトの支援をきっかけに、毎月定例で経営会議を実施するようになり、より事業計画の計画的な遂行を意識するようになった。

新規事業の「e-HPLC ことり」についても、展示会来場者へのコンタクトや出張デモの実施等、積極的な営業活動が始まり、今後の取引先拡大に期待が持てる。

## 企業の声

技術屋の特性なのか「言わなくてもわかるのではないか」と思い、自分からはなかなか後継者に話ができませんでした。中小企業診断士の先生に間に入っていたことで、後継者へ伝えるべき様々な想いを引き出していました。

また、一連の支援の中で、今まで知らなかった新しい情報を得られることも成果として大きかったと感じています。中小企業は大企業に比べて情報量が少ないです。情報が増えれば、そこから次につながる枝葉を増やしていくます。今後も、ここで得られた情報を活用し、新規事業である「e-HPLC ことり」の販売拡大等に役立てていきたいです。

(代表取締役：森川秀行氏)

## 支援者の声

どこまでも奥深い森川社長の知識・経験・発想力をいかに“目に見える形”として引き継いでいくか、それが今回の支援の最重要テーマでした。川本先生独特のやわらかな雰囲気に良い影響を受けながら、実効性のある支援が出来たと思っております。後継者の内山さん、幹部の皆さんも、毎回川本先生から出される宿題を、お忙しい中で見事にクリアされました。虎の子とも言えるこの事業計画書に沿って、さらに事業拡大されることを祈念しております。

(あきる野商工会：山口純氏)



主力製品である計量用、送液用ポンプ



アメリカやドイツの特許も取得



教育用の小型高速液体クロマトグラフ  
「e-HPLC ことり」

取材・執筆：中小企業診断士 徳田友美

経営診断担当：川本比呂史氏／コーディネーター：橋爪直幸氏／アシストコース担当（ディレクター）：川本比呂史氏／経営指導員：山口純氏（あきる野商工会）